

第5回 藤沢市民会館等再整備基本構想策定検討委員会 議事録(要旨)

日 時：2021年(令和3年)10月28日(木)午後6時30分から午後8時30分

場 所：藤沢市役所 本庁舎8階 8-1,2会議室

委員出席者：川村委員長、間瀬委員、中島委員、長田委員、野口委員、黒川委員、飯田委員、
宮原委員、神原委員、奈良委員

オブザーバー：藤沢商工会議所 大嶋常務理事、企画政策課 三ツ井参事、市民自治推進課 福室参事、
市民相談情報課 藤岡課長、総合市民図書館 市川館長、青少年課 高橋課長、
公園課 張ヶ谷課長、下水道総務課 近藤参事

事務局出席者：文化芸術課 井澤課長、吉原主幹、齊藤課長補佐、上原上級主査
企画政策課 岡主幹、小泉課長補佐、石丸上級主査
八千代エンジニアリング株式会社(齋藤、竹田、小川)

傍 聴 者：10名

議 題： (1) 藤沢市民会館等再整備基本構想(素案)について
(2) その他

配 布 資 料：

○次第

○資料1：浸水対策施設の概要

資料2 藤沢市民会館等再整備基本構想(素案)

■議事要旨

(1) 藤沢市民会館等再整備基本構想（素案）について

・事務局より、資料1「浸水対策施設の概要」の説明。

川村委員長	ただいまの説明についてご意見ありますか。
間瀬委員	<p>まず一点、屋上部分の上屋を活用することは可能かどうかを確認したいです。</p> <p>横浜市の吉野町市民プラザでは、駐車場と併設してつくられています。深く掘ると経費がかかってしまうのかもしれませんが、まるまる地上の活用が可能であるかどうか、可能であるなら、浸水対策施設を複合施設の一部の地下に入れることが出来れば、空間が広がると思います。</p>
事務局	<p>下水道施設を独立した施設とするのか、上部利用して公園とするのか、様々な機能の複合が考えられますし、他の都市では実際に複合化している事例があります。現時点ではゾーニング（案）の段階で、それが適するかどうかは別の議論になるかと思いますが、可能性としては考えられると思います。</p>
長田委員	<p>資料1の図-2を見ると、幅60mとなっていて、高さ10mだと3階建てくらいですので、相当大きい建物で、ビルのようなものを想像します。まるまる地下に入れるのは難しいかもしれませんが、そういったことも意識しておくことが望ましいです。</p> <p>もしくは屋上部分を活用できる工夫を取り入れていただければ良いと思います。ゾーニング（案）の段階でここまでの話をするべきではないのかもしれませんが、相当大きな建物を想定して考えておかないといけないと思いました。</p>
中島委員	<p>素案で、上部はなるべく使わない、建物を建てない方針になっています。他都市の事例では、上部を利用しているのか、振動等の問題などもあるのか、もう少し事例など補足をお願いできますでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、下水道部を中心として事例の調査を進めているところで、ポンプ場上部を活用する可能性を完全に排除しているわけではありません。</p> <p>ゾーニング（案）でも示していますが、上部を公園として利用することを案として示しています。従前の公園面積を確保することを考えているので、今のところは浸水対策施設の上部を公園として考えています。</p> <p>仮に、複合施設をポンプ場の上に建てて、さらにその上を公園にすると高層になってしまう面で課題があります。また、事例を全て調べているわけではないですが、騒音や振動も課題として捉えられている状況ですので、事例調査も含めて確認したいと考えています。</p>
中島委員	<p>浸水対策施設の上部を都市公園として面積確保する上で、公園とすることが得策ということでしょうか。</p>
事務局	今のところはそのような考え方です。
黒川委員	浸水対策施設は、どのくらいの時期に建替えを想定しているのでしょうか。

	<p>同じ規模を公園内で取るとすると、ゾーニング（案）の中では確保しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>浸水対策施設の建替えまでの期間は50年程度を想定しています。前後することはあるかもしれません。</p> <p>建替え用地ですが、資料2の基本構想（素案）45ページで示しています。浸水対策施設に隣接した位置に、同規模の4,000㎡程度の敷地を整備する想定です。</p> <p>必ずしも隣にないといけない訳ではないですが、今のところ隣接した位置でゾーニング（案）を考えています。</p>
川村委員長	<p>ゾーニング（案）とも関係することなので、議題（1）だけで議論しても不十分かもしれません。</p> <p>ただ、長田委員がおっしゃるように高さ10mはやはり大きく、しかも川沿いでなければならないのであると、眺望の確保も容易なことではないと思います。</p> <p>各委員から出た疑問点については、色々な事例を調べて教えていただきたいと思います。皆さんがこのような危惧の念を持っているということはお伝えしたいと思います。</p>

・事務局より、資料2「藤沢市民会館等再整備基本構想（素案）」第1章、2章の説明。

川村委員長	<p>これまでも多くご意見をいただきましたが、ご意見ご質問あればお願いします。</p>
中島委員	<p>奥田公園と奥田公園駐車場の記述について、これまで活用方針を議論する機会はなかったと思います。</p> <p>また、建設後25年位しか経っていないので、老朽化が進むとはどういったことなのか、この表現が正しいのかも含めて、もう少し明確な記述はできないでしょうか。</p>
事務局	<p>奥田公園のあり方の活用について、本委員会で議論、検討の想定はしていません。継続利用か廃止なのかも含めて、今後の課題としての記載をしています。</p> <p>老朽化については、躯体には大きな問題がないものの、設備は更新が必要であり、老朽化が進んでいます。機械式駐車場の部分は一部利用できない部分もあります。</p>
中島委員	<p>後者の話では、老朽化が進む、とは言い過ぎな気がします。</p> <p>奥田公園駐車場の活用の仕方を議論しないと、上部の利用やゾーニング（案）の前提となる条件なので、齟齬がある気がします。活用方針が決まっていなければ、ゾーニングの検討ができない気がします、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>前回冒頭でも説明しましたが、ゾーニング（案）ではどういうイメージの可能性があるかということを示したかったというところです。</p> <p>4つのパターンのいずれかを選定するという考えではありません。市として</p>

	は、奥田公園駐車場の活用方法も引き続き検討課題であると捉えています。
中島委員	ゾーニング(案)の中で、立体駐車場の配置がポイントとしてあると思います。 立体駐車場は、奥田公園駐車場の廃止が前提と受け取ってしまいますが、そうではないということでしょうか。
事務局	おっしゃるとおり、そうではありません。奥田公園駐車場ありきで検討を進めてしまうと、それが難しいということになった時に、立体駐車場をどこに配置するかが大きな問題となります。 そのため、立体駐車場が必要という前提で検討を行っています。
中島委員	立体駐車場がないというパターンを検討した方が良いと思います。
事務局	今年度の委員会で、検討内容をどれだけお示しできるかは分かりませんが、奥田公園駐車場を活用する、立体駐車場ではない場合のパターンについても、来年度以降も引き続き検討することは考えたいと思います。
中島委員	ゾーニングの条件は明記しておいた方が良いと思います。
川村委員長	大変重要な意見で、そのあたりははっきり明記しておいた方が良いと思います。 中島委員のご意見は、駐車場はまだまだ使えるということでのご意見でよろしいでしょうか。
中島委員	整備費が大きく違うと思いますし、使えるものは使った方が良いのではと思います。
川村委員長	他にありますでしょうか。奥田公園駐車場については事務局の方で更に検討を進めていただければと思います。

・事務局より、資料2「藤沢市民会館等再整備基本構想(素案)」第3章の説明。

川村委員長	この事業の核となる基本理念と基本方針についてですが、前回も多くのご意見をいただきました。基本方針については前回から変わっているところもございますので、何かご意見いただければと思います。
中島委員	1点だけ、基本理念は実現させたい部分だと思いますが、「周辺環境と調和した拠点」について、周辺環境と調和するというのはどんな施設でも当然やることだと思います。この場所がどういう場所にしたいのかをもう少し入れておくべきだと思います。緑豊かで開かれた空間とすると書いてありますが、この場所をどういう場所にしたいかなので、周辺環境と調和したという話が1点目に出ると、受け身的な話で当たり前な話であるのと、「この場所をこう作っていくんだ」という内容には見えないというのがあります。 内容はこのままで良いと思いますが、打ち出し方が少し違うと思いました。

	<p>前回の検討委員会では、そのあたりの議論はありましたか。</p>
事務局	<p>前回の検討委員会では、「複合施設、奥田公園、周辺環境との融合」と示していましたが、それも全て踏まえた上で整備するものと捉えております。</p> <p>囲みの中の記載は大きく変わっていませんが、公園も踏まえた上で施設があるべきであると考えたため、全体的な表現として示しています。</p>
中島委員	<p>ここで言う周辺環境とは何でしょうか。</p>
事務局	<p>例えば、川が見える景観や交通の状況、駅前から流れる人の動線なども踏まえて周辺環境と理解しています。</p>
中島委員	<p>奥田公園と複合施設が一体となっているのが大事だとすると、奥田公園は周辺環境ではなくて、今回の整備対象そのものだと思います。</p> <p>奥田公園と一体となっている状態を示した方が良いと思います。例えば、公園のような場所とか、緑豊かな場所に文化施設があるというようなことではないかと思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>緑の中にある施設ということも踏まえて周辺環境と示しています。</p>
中島委員	<p>周辺というと、川とか、対象の外の話のことで、そうすると奥田公園は中なので含まれないと思います。境川、新林公園との調和は読み取れますが、中の状態は表現できていないのではないのでしょうか。</p>
黒川委員	<p>前回の議論の中で、文化芸術・知識との出会いの拠点を一番上にしようという話でした。そこが変わっていないために、どういう拠点とするかが分かりにくくなっているのではないかと思います。</p> <p>あえて周辺環境の話がここに残っているのはなぜでしょうか。</p>
事務局	<p>5本の柱の中では優劣は無いと考えており、場があってこそその文化芸術の出会いの拠点なのではないかと思います。</p> <p>まずは周辺環境と調和した拠点があってこそだと思い、この記載の順としましたが、ご指摘の点も踏まえて検討したいと思います。</p>
川村委員長	<p>前回の議論で文化芸術の拠点ということが一番上にした方が良いとの意見が多くありましたので、事務局でなおよくご検討いただければと思います。</p>
黒川委員	<p>基本方針の②の拠点の中の◆の部分について、文章を読むと、「市民が利用しやすい、市民のためのホールに対応した舞台設備やホワイエ等」とありますが、市民が使いやすいのは大事けども、この施設は舞台芸術の専門家が来ても十分に対応できる施設であってほしいわけですね。</p> <p>そうなる書き方として、「市民が利用しやすい市民のためのホールとして、市民の多様な文化芸術活動を支え、さらに発展させるために、舞台設備（機構）やホワイエ等、適切な設備を整えた施設とします。」としたらどうでしょうか。</p>

	<p>いただいた文章だと市民の発表会レベルのホールに見えてしまいます。これまでの議論では、専門家が使用しても十分に対応できる機能、設備が必要ということだったと思います。</p> <p>そこを変えるだけで随分変わるかと思いましたが、提案です。</p> <p>もう一つ、図書館や市民ギャラリーについては、◆二つ目のところに「市民活動、生涯学習等において」という部分に対応すると思いますが、これまで何度か言われているように、図書館や市民ギャラリーがどうあるべきかが書かれていない。もう少し図書館というものの役割が大きいのではないかという話もありましたし、機能をどう活かしていくか、目指しておくべき施設のあり方や言及が必要なのではないのでしょうか。</p>
川村委員長	<p>黒川委員の一つ目のご意見について、ここで文化芸術を創造するという意味では、当然、専門性の高い舞台が必要なわけなので、そういう意味合いを出したいということでしょうか。そのご趣旨はよく分かるので、きちんとしたホールであることはわかるように記載したいということですね。</p> <p>また、図書館について議論が少ないのは非常に残念ですが、図書館という形でそのままここに入れるのはいかがかと思えます。</p> <p>文化芸術等との出会いの拠点の中に図書館活動をどう考えるか、ということをもそのままここに、◇か◆のスタイルで入れ込むことは、いかがかなと思ったりしています。ちょっと難しいかなと。</p> <p>私が危惧しているのは、旧南市民図書館は図書館としてはやや不便な場所にあったが、現在は多くの市民にとって非常にアクセスしやすい駅前になっています。それが元の場所に戻ってくることの変化に対して、図書館の活動ないし機能としてどのように柔軟に対応していくのかということなのです。</p> <p>新しい複合施設の一員となって駅前から従来の場所に戻ったときに、市民からどのようなご意見をいただくことになるのか、と心配です。</p> <p>そういう意味でも図書館に期待する機能、活動のあり方は非常に大切だと思うので、そういう意味で黒川委員が言うように図書館に対する言及がどこかで欲しいなと思えます。</p>
飯田委員	<p>距離的に遠くなるのはありますが、今の図書館は勉強スペースとして使用されている方が並んでいて、利用できる人が限定されてしまったことが以前の旧南市民図書館と比べてデメリットになっていると思います。</p> <p>目指したいものに対する図書館の位置づけをしっかりとした上で、ここにあることによって出来ることを理念の中や今後の検討などで表現できれば、デメリットだけではないと思います。</p> <p>もう一つ、理念で何を目指しているか、わかりにくい点についてですが、文化芸術の共創拠点というのが一番頭にあるので、これがこの場でやることなのだと思えます。</p> <p>創造は文化芸術を創造することもそうですし、また、文化芸術の共創をどう</p>

	<p>捉えるかということについては、市の文化芸術課の方にお聞きしました。</p> <p>紹介させていただくと、「本理念における共創というのは、市民会館だけでなく、この事業対象地内で活動する様々な主体(これは文化芸術活動をする人、図書館を利用する人、市民活動を行う人、施設運営者を含む)がお互いに影響を与え合って、ときに協働し、新たな活動(=文化)を行うことを共創としてイメージしている」と返信いただきました。</p> <p>井澤課長からいただいた見解なので、公式なものではないかもしれませんが、そういった活動を生み出すことが、この拠点でやりたいことであり、共創という言葉がありますが、理念と方針で示すのが足りない、というのがあるのではと思います。</p> <p>そういうやりたいことがあったうえで、周辺との調和や、それぞれの文化との出会いがある、と理解しています。</p> <p>共創が何か、共創があると何が生まれるかが方針などに書かれていると良いのではと思いました。</p>
中島委員	<p>図書館について、おそらく駅前図書館は便利だと思いますが、ここに作る意味は周りの環境だと思います。</p> <p>公園と一体化されていて、周りの自然環境との調和を感じながら本を読んだり、子どもを公園で遊ばせながらお母さんが立ち寄りできます。</p> <p>ちゃんと図書館をうまくこの中で設置すれば魅力的になるし、問題となるのではなく、さらに良くなると思います。</p> <p>そこで例えば④みんなの居場所となる拠点に、カフェ等とあります。カフェもそうかもしれませんが、図書館が一番、多くの人が気軽に利用できる施設であるため、まだ議論していないところですが、④に入るのでは思いました。</p>
神原委員	<p>今の図書館は立地性の面で利便性が高いというのがありますが、デメリットも飯田委員のお話の部分もありますし、デパート内の館内放送といった音の問題や、面積が十分でない、バックヤードがない、など、図書館としては難しい運営をしているという点があります。</p> <p>旧南市民図書館でも1日1,300人、今は2,500~3,000人くらいがお見えなので、人を集める、人の交流を生むという点で、最大の利点がある施設と考えているため、こちらに再移転をして複合化した時の優位性について検討をしているところですが、基本構想の中でお話することではないと思いますが、複合化したときにメリットを最大限活かせるような新しい図書館についても検討を始めています。</p>
長田委員	<p>基本方針のみんなの居場所になる拠点の中で、最初にカフェとあるのが気になります。あくまで、カフェは一息つくおまけの場所とっていて、基本方針の中に入れるのはどうなのかと思います。</p> <p>大和のシリウスでも図書館が何層もあり、1階の端にカフェスペースがあります。そういうものの方が、文化拠点としては正しい表現に繋がるのではない</p>

	<p>でしょうか。この表現だと1フロアがカフェのように感じてしまうような表現だと思いました。</p> <p>それなら図書館を入れた方が文化拠点としては正しい表現になるのでは、と思います。</p>
事務局	<p>色々なご意見ありがとうございます。いただいた意見を踏まえて検討したいと思います。</p>
川村委員長	<p>他にご意見あればお願いします。</p>
飯田委員	<p>ここの施設が何を指すかという点ですが、シリウスに行ってみて、イメージを捉えてみました。</p> <p>中心が図書館となっており、賑やかさというよりは中に入っていった活動するというイメージが強い施設と感じました。賑わいを吸収する施設で、中で何かが起こっているというイメージです。</p> <p>今回は市民会館が中心にあり、図書館がきっかけのシリウスとは違うと思います。その意味で、理念に創造するということが入っていることが大きく違い、特色だと思います。そこで得るだけでなく、表現をしたり創造するというのが、メインとなるのが特色なのではないかと思います。</p> <p>④の基本理念の「年齢、性別、障がい、国籍問わず」と記載がありますが、方針の方ではバリアフリーなど施設面でどのような対策がとられるのかがあまり表現できていないと思います。誰でも受け入れるというのが表現できていないと改めて思いました。</p> <p>⑤の洪水などの自然災害の対策は理念にはありますが、方針には何かを作ります、という記載がありません。</p> <p>理念と方針の記載に少し差があると思いました。</p>
事務局	<p>バリアフリーは、「誰もが立ち寄れるサードプレイスとしての」の記載についての部分に含むと考えています。また、誰もが使いやすい施設というのは基本的な部分であると考えていますが、再度整理したいと思います。</p> <p>防災は、新たに整備する施設においては大前提という考えで、基本方針としてこのように記載しています。</p>
間瀬委員	<p>基本理念と基本方針は同じようなことを記載しても仕方ないという気持ちも分かりますが、少しちぐはぐであると感じました。もう少し、はめ込んでもよいと思いました。</p> <p>基本方針②の部分で、委員長も言っていましたが、文化芸術を創造する場であるということ、先ほど黒川委員から順番の話がありましたが、◆の頭の部分に入れていただけないかな、と思います。</p> <p>文化芸術、知識との出会いの拠点として、文化芸術を創造する力も持つということが触れられると、市民会館としてどういうものになるのかが、もう少し明確になると思いました。</p>

	<p>シリウスは図書館ホールであると思っています。お客さんが外に並ぶということができません。</p> <p>カフェからクレームがきてお客さんが並べなくなるので、1階に劇場の入口がありますが、そこに何も無いという作り方になっています。事務所も奥の方にあります。無理やり敷地の中にはめ込んだつくりになっています。</p> <p>ただ、県内で一番集客のある施設であるのは、確かで、それは図書館があるからです。劇場が満席でも、その何倍も図書館に人が来ます。</p> <p>図書館とホールと一緒に事業の連携をするのは大事だと思っています。逗子の市民プラザで図書館とホールの運営を一緒にやりましたが、まさにお互いが事業を企画してリンクし合えるのが十分に可能なものになっています。</p> <p>上手く配置がされて、お互いがメリットあるような形になれば良いと思います。</p> <p>ということはハードだけでなく、運営面でも両館長がリンクしていかないと縦割りになってしまう可能性があるのかなと思っています。</p>
中島委員	<p>細かい話ですが、③は多くの機能を備えた、だけでなく、連携という言葉が大事だと思います。</p> <p>文章はそうなのですが、標題が「多くの機能を備える」となっているので、連携という言葉が大事だと思います。</p>
飯田委員	<p>やはり共創をいかに起こすかが重要と考えています。</p> <p>中心に文化の拠点である市民会館があって、同じ場所に図書館という知的好奇心を求めてやってくる施設があり、子どもからお年寄りまで訪れる公園があって、さらに体育館があります。</p> <p>共創の要因は多彩な人が集まる基盤があり、人が集まるベースがあるメリットがあるので、それを思いながら作っていると思いますが、何が生まれるのかが分からない資料になってしまっています。</p> <p>さらに重要なのは、多様な人とは「市民」であること。色んな理由で集まって、出会いがあり創造があるという流れがあると良いと思いました。</p>
川村委員長	<p>そのとおりだと思います。文章にするのは難しいとは思いますが。</p>
中島委員	<p>やはり基本理念の順番は大事だと思います。例えば、②、④、③、①、⑤でだんだん広がっていくイメージで、ランダムの並びではないと思います。核があり、結びついて、それが回りに囲まれて、それが都市的な意味を持つなど、ストーリーを感じられる順番が大事だと思います。先ほどは、順番は重要でないとの話でしたが、受け取る方は意味があるように受け取ります。</p>
事務局	<p>意見をいただいて、素案として基本理念の順番等も委員会としての結論としていただきたいと思っています。</p>
中島委員	<p>順番は、②、④、③、①、⑤だと思いました。③と④の順番は難しいですが、</p>

	<p>だんだんと役割が大きくなっていくように、説明がついた方が良いと思います。</p>
事務局	<p>文化芸術からはじまり、みんなの居場所であり、多くの機能を備えた場であり、かつ、周辺環境と調和した場であり、安心安全を支える場である、という順番が、委員会として相応しいということであれば、修正させていただきたいです。</p>
川村委員長	<p>確認しますと、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文化芸術 2 居場所 3 多くの機能 4 周辺環境 5 安心安全 <p>ということでしょうか。</p> <p>おっしゃる通り、流れが見えてくるので、その方向で考えていただきたいと思います。</p> <p>理念の一番が大切で、文化芸術との出会いも良いですが、やはりその創造が大切だと思います。前回は申し上げましたが、基本理念の説明に「ふじさわ文化の創造」という字句が入っていて、進歩したと思いますが、もう少し創造について積極的に基本理念に入れてほしいと思います。</p> <p>また、基本方針のところアクセスの問題があります。基本方針の4番目の最後に「車両等の待合空間や～容易なアクセスに資する施設」とあります。</p> <p>アクセスの確保は非常に大切なので、わたくしの修正案としては、例えば「車両、自転車の利用者、歩行者を含め、できるだけ多くの市民のアクセスが容易となる施設と仕組みを作ります」というようにしたいです。今の表現だと考えの幅が狭いので。</p> <p>現在、図書館と市民ギャラリーは駅前で利便性が高いので、市民会館と複合化するメリットをできるだけ活かすには、アクセスの容易さも大切で、考慮していただきたいと思います。</p> <p>有益なご意見を多数いただきましたので、その点も含めて修正していただきたいと思います。</p>

・事務局より、資料2「藤沢市民会館等再整備基本構想（素案）」第4章、5章の説明。

川村委員長	<p>ただいまの説明で、ご意見ご質問をお願いします。</p>
長田委員	<p>36 ページで「市民が利用しやすい、市民のためのホール」という言葉があるのであれば、やはり市民が使うのが第一義と想定されると思います。少し前に辻堂が生活しやすい街としてランクインしましたが、一方で藤沢市は美術館、博物館がありません。ワークショップでも無理であることが前提でも、意</p>

	<p>見として必ず出ています。</p> <p>美術館、博物館を市民ギャラリーの発展形と考えてみてはどうでしょうか。</p> <p>今の市民ギャラリーでは設備的に整っていませんが、市民が使うギャラリーとは別で、プロが利用できるホールと同じ立場に立ったものが必要ではないかと思えます。</p> <p>プロが利用できるホールという考え方に立った、やはりレベルの高いものを供給するという必要だと思えます。</p> <p>できればこの中に美術館、博物館といった本物を展示できるスペースがあればと思いい見させてもらいました。</p>
神原委員	<p>市民ギャラリーは複合化する施設に入っており、美術館・博物館としての活用については、基本計画などで今後、活用方法、規模感、設えを検討していきたいと考えています。</p> <p>今後は基本計画等の中で、ご検討いただければと思えます。</p>
中島委員	<p>ゾーニングパターン②③では、浸水対策施設が真ん中に配置されていますが、北東部の奥田公園のところにおいたほうがしっくりくると思えます。現在の境川側に、高さ 10mの浸水対策施設を配置すると、川と分断されてしまいます。</p> <p>北側の住宅への配慮もあると思えますが、現状、奥田公園駐車場部分は地面を盛っています。市民会館と公園は一体的に広がる方が環境としては良いかと思えます。</p> <p>北側に浸水対策施設を配置できない理由はあるのでしょうか。オープンスペースで真ん中が高いと使いにくいと思えます。</p>
事務局	<p>北側に配置できないということではありません。現状の奥田公園は高い部分がありますが、北側の一部は低くなっています。</p> <p>周辺の住宅への配慮も考えて、南側に配置したという経緯です。</p>
中島委員	<p>形のつくり方での配慮できると思えます。北側の住宅への配慮以外の理由はないのかなと思えます。こっちの方が、メリットは大きくなると思えます。パターン②③は、再考した方が良いと思えます。</p> <p>駐車場の入口は国道の方から取らないといけないのでしょうか。確かに北側の住宅への配慮だと思えますが、北側は全体に無理ということでしょうか。</p> <p>パターン①は車の入り方が非常に不自然だと思えます。</p>
事務局	<p>北側は、交通規制がかなりかかっています。時間帯、曜日で進入できないことが多々あります。この規制を変えるのは難しいと考えています。</p> <p>住宅地ではない東西に走っている部分（鵜沼奥田線）についても、新たに信号を設けるのは警察協議の結果、困難であるとの話でした。そのため、北側から入れるのは相当難しいと考えています。</p>

中島委員	たしかに現場にいるとそういうことが分かってくるのかもしれないですが、集合住宅のところですよ。
事務局	敷地を分断しないという点では北側に配置することは有利になると考えています。北側から出入口を取れないかということも検討しましたが、今ご説明した状況であり、不可能に近いと考えています。
間瀬委員	<p>36 ページの囲みの中、「市民の利用しやすい市民のためのホール」が基本方針から離れてしまっていると思います。少し工夫をしてほしいと思います。</p> <p>メインのタイトルとして、基本方針の中のものを反映した形で入れてほしいです。</p> <p>例えば、利用しやすい市民のためのホールというタイトルがあり、サブタイトルで入ってもよいと思います。</p> <p>文化芸術を共創する拠点であることが重要であることを宣言した上で、舞台のことも入れてほしいと思います。</p> <p>もう1点、ゾーニングについて。4つのパターンをみて思ったのが、すぐ近隣の住宅施設への配慮が必要だということです。</p> <p>パターン①だと塔屋がビルの7、8階あたりになるので、眺望は悪くなり、電波の問題もあります。今はVHFではなくUHFになってきましたが、電波で飛ばすものになるほど反射して受信がしにくくなります。それを考えると、パターン①は影響が出るのではないかと思います。まして、住宅の前に立体駐車場があるので、ご意見は出てくると思います。</p> <p>ぐるっと外側にホール、図書館建物を配置し、真ん中の空間を広げて、まわりに建物がくるのが良いと思いました。</p> <p>旧近藤邸は今のところではなく、やはり川が見えるところにあったほうがテラスとして生きてくると思います。</p> <p>建物のあるべき形を上手く活用しながらとお願いしたいです。</p> <p>もう一つは、道路の取り付けの部分です。高齢者が増えると、送り迎えで車寄せが必要になります。</p> <p>できればそこから図書館に行けたり遊歩道があって、入れると良いです。</p> <p>車の出入りの信号について、土日混雑時はほとんど外に出られないので、これを打開する案を考えていただいた方が良いかと思います。北入口のことも分かっていますが、配置を考えた方が良いと思います。</p> <p>土日はお客さんの出入りで、運搬車が動けなくなります。主催側は夜に出入りするので10トン車は出られますが、お客さんは出られません。一般的に催し物は土曜、日曜の午後などが多いですので、土日の混雑状況についてもご検討の中にいれていただければ、と思います。</p>
飯田委員	<p>ゾーニングについて、もう少し立体的な視点も必要だと思います。</p> <p>歩道橋が続いていますが、その高さを一つのベースとして、2階からホールに入れるなどが考えられます。</p>

	<p>また、歩道橋と同じ高さに公園があるという状況になっています。今も公園側と大ホール前の広場には高低差があります。あの土地の高さのイメージがあると良いと思います。</p> <p>例えば、そのラインより上には外に開かれたテラスがあるなど、中からも外が見え、外からも中が見えるように公園を配置して、1階部分・下の部分はもう少し中に入って行って、あまり外に主張しないようなものにして、上下の分担のようなものができると、開けたものになりつつ、機能も集約されたものをつくるのではないかと思います。</p>
野口委員	<p>ゾーニング計画は、近隣住宅地をかなり意識しないといけないと思います。視認性、車両の動線、車寄せも重要ですが、商工会議所では毎年5月に産業フェスタを開催しています。</p> <p>市民会館を中心にやっていますが、その時に音を出したり、販売、ダンスなどがあり、多くの市民が訪れます。</p> <p>住宅地が近いとなかなか難しいので、音を出すことを意識した方が良いと思います。隣接する住宅に迷惑がかかると悲しいと思います。</p>
川村委員長	<p>先ほどご意見が出たように、「市民が利用しやすい、市民のためのホール」の表現は工夫した方が良いと思います。</p> <p>専門性の高い、創造性の高い、ということについて、「市民のための」という表記だと、そういうものを排除しているようにとれます。そうではなく、創造の場で、しかも市民が使いやすいというニュアンスの表現として欲しいと思います。</p> <p>ゾーニングは飯田委員が言われたように立面図が欲しいです。</p> <p>市民会館の塔屋の高さもあり、浸水対策施設の10mの突出もあります。</p> <p>現在の土地も高低差があるので、立面的なものが欲しいと思います。</p>
間瀬委員	<p>吉野町市民プラザの地下が遊水のダムになっています。排水モーターが回るときに催し物をやっているかどうかという点です。ゾーニングでは、浸水対策施設の上に複合施設を設置しない方針となっている。この方針について、音が出ることを避けるためというのであれば、理由にはならないのではないかと思います。</p> <p>モーターの回る時間が決まっているなら考えないといけませんが、一定程度溜まったら回るという感じだと思います。</p> <p>普段はカラカラで入っていないと考えています。そうでないなら、もう少し考えないといけないと思います。</p> <p>吉野町市民プラザでモーターが回ったのは10年間で数回です。その際は建物に音が響いたというのは聞きました。大岡川が氾濫して水が入ったということです。</p> <p>この場所では、以前、イトーヨーカドーの下などに水が入ったから前の道路や市民会館も助かったと聞いています。</p>

	<p>何年に1回ということではなく、非常時である時にホール、図書館を通常通り営業するののかということです。屋上、上部をどう活用するののかという時に、ご検討いただきたいと思います。</p>
飯田委員	<p>立体的な考え方も必要と思いましたが、それから時間軸での考え方も必要だと思いました。</p> <p>例えば、非常時とそうでないとき、朝昼晩に誰が来るのか、夜は誰が来るのか、イベントがあるかどうかなど、そういった時間軸での方向も考えるべきだと思います。</p>
黒川委員	<p>複合化がやむを得ないのは、市民会館、図書館、市民ギャラリー、常設展示室については当然だろうと思いますが、青少年会館や市民活動推進センターなどは、ボリュームが大きくなるので、どうなのかという議論があったと思います。</p> <p>委員会の中でもう少し話さなくても良いのでしょうか。</p> <p>複合化は反対ではありませんが、複合化にあたってどのような機能の充実が図られるのかがまだ見えていません。</p> <p>他の事例をみると、「注目ポイント」の中に必ず連携機能が入っています。残念ながら今回は見当たらないです。例えば市民活動推進センターが入るとこれができるなど。もう少し説明があれば良いと思います。</p> <p>みなさんのお考えもぜひ聞きたいです。</p>
川村委員長	<p>複合化についてはおっしゃるとおりですが、今回の再整備の前提として上位の関連計画があります。16 ページにあり、第3次藤沢市公共施設再整備プランがあり、そこに具体的に複合化施設が示されています。</p> <p>わたくしの理解では第3次藤沢市公共施設再整備プランでこうなっているので、我々としてはその前提で議論すべきであろうということ、またそれをやるにあたり、具体的に青少年会館が入ったらどのような機能連携をするのか、これは運営の問題ではないかと思っています。</p> <p>これまでハード中心に議論が進み、これから50年間市民のためにどう有効に使うのかの議論があまりなかったように思います。これからは運営のあり方について整理が必要だと思いますが、ともあれ諸施設の複合化は市の方針として示されていたと理解していました。</p>
黒川委員	<p>もう少し先のところですべき議論と理解しました。</p> <p>複合化にあたって機能を連携させていくために、指定管理者となっているところからの意見聴取が十分されているのかを危惧しています。</p> <p>現場の意見聴取をして欲しいと思います。基本構想計画の段階では、情報公開と市民の意見を聞く検討のあり方で進めていって欲しいです。</p>
川村委員長	<p>市民会館は、藤沢市みらい創造財団が実際は運営しており、現場で運営している人の意見を聞くことは非常に重要だと思います。</p>

長田委員	<p>私は社会教育委員もやっております、公民館、図書館を視察して現状を把握して、方針を出しています。</p> <p>生涯学習の面では年齢差があつて、公民館は高齢者の利用が多いですが、高齢者と若い方が融合できないかというのが大きな問題としてあります。そういう意味で、市民会館でそれができれば素晴らしいと思います。</p> <p>また、藤沢市みらい創造財団の副理事の立場からは、施設の中で分離しているのではなく、オープンスペースの形で、誰もが見通せるような活動がお互いできたら理解が深まるのではないかと思います。</p> <p>行政がこうしなさい、というのはなく、自然発生的に生まれるのが良いと思います。</p> <p>26 ページにも、「～利用者の活発な交流」とあります。年代を越えた交流というのができれば素晴らしい、数十年後に素晴らしい藤沢市になっているのではないかと思います。</p>
飯田委員	<p>複合施設として何のためにこの場があるのかが見えると、ありきではなく、必要だということを感じられるのではないかと思います。</p> <p>これは理念に表現されているべきだと思います。並びをみたときに、「文化芸術の知識との出会いや創造」が、行為と目的のイメージです。「みんなの居場所」は人だと思います。行為と人があつて、「多くの機能」があつて、「周辺環境」は場、最後に「安心安全」で場の維持の視点があり、広がりが出てくるのではないかと思います。</p> <p>多様な人が出会つて、価値を生む、そのために人が必要で、機能が必要、人が何をするのかで具体的な複合施設の機能があるという、そういったストーリーがあれば、若者と高齢者が出会う場として最初の行為を満たすためにそれぞれの機能がある、という説明がしやすくなると思ひました。</p>
川村委員長	<p>一つの考え方を通して説明するのが基本理念であり基本方針であるということですね。</p>

・事務局より、資料2「藤沢市民会館等再整備基本構想（素案）」第6章の説明。

川村委員長	<p>第6章についてご意見ご質問お願いします。</p>
黒川委員	<p>たとえば通常の公共事業として市が整備する際も、外注するわけですよね。設計、施工があるが、いわゆるPFIと公共事業の違いとして心配しているのが、民間企業が入った場合に、市民に対して情報公開がされるのかということです。</p> <p>例えば設計の工程として市民の意見を聞くということがあるのでしょうか。いわゆる公共事業であればあると思ひますが、PFIだと企業が情報を出さないこともありえるのでしょうか。</p>

事務局	<p>PFI を採用することで、計画の内容が開示されなくなるということはありません。</p> <p>藤が岡二丁目の事業でも PFI を採用していますが、PFI 事業者と市が協力して説明会等を実施していきまして、これは通常の公共事業と比べても多く実施していると認識しています。そのあたりは心配いただくなくて良いと思います。</p>
川村委員長	<p>事業推進に当たっての今後の課題として、適正な施設規模の検討や事業手法の検討が示されていますが、一番大きな問題は、今後 50 年間の運営のあり方の検討であると思います。</p> <p>事業手法で PFI とするか否かで大きく変わってくるものと思いますが、せっかくの大金を投入して行う大事業なので、施設を十分活かすための運営のあり方をどうするかを考える視点で、それを 1 項目起こして記載すべきではないでしょうか。</p> <p>(1) にはそれらしい記述もありますが、施設規模の前提ともなることとして課題として取り上げてほしいと思います。</p>
間瀬委員	<p>PFI のやり方、PPP のどのあたりを使うのかが気になります。</p> <p>平塚はたしか PFI でやり、運営も JV が担うというかたちです。</p> <p>こちらから要望を出せば良いのかもしれませんが、建物を建てるために PPP 手法を採用するということはコスト削減する上で良いと思います。しかし、運営については今までの長い歴史をどう繋いでいくのか。これはペーパーだけでは引き継ぐことが難しいことが多いです。</p> <p>運営について継続性を十分に考えていただき、どの手法をとるか考えていただきたいです。</p>
飯田委員	<p>今後の課題についてですが、行為と人に対する課題が入っていないと感じます。</p> <p>これが出来上がったときに来る人について、来る人が、行こうと思えるモチベーションも大事だと思います。</p> <p>利用者側をどう巻き込んでいくか、利用者視点の今後の課題もあると良いと思いました。</p>
川村委員長	<p>利用者側の視点で課題をとということもあると思います。</p> <p>第 6 章に掲げる課題は、次の委員会に引き継ぐということになると思います。</p> <p>予定していた時間も過ぎましたので、素案についての議論は以上としますが、今後の予定について事務局からお願いします。</p>

(7) その他

川村委員長	その他何かございますか。
	(特になし)
川村委員長	特にないようなので、以上で議事を終了したいと思います。進行を事務局にお返しします。
事務局	<p>以上を持ちまして令和3年度第5回藤沢市民会館等再整備基本構想策定検討委員会を終了します。</p> <p>次回は12月10日金曜日、午後6時半から、市役所本庁舎8階会議室の予定です。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

以上